

# SRS テレフォニーおよび MGCP フォールバックの設定

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[FXSポートでダイヤルトーンが聞こえない、またはFXOポートまたはISDNリンク経由で着信コールを発信できない](#)

[解決方法](#)

[解決策 1](#)

[解決策 2](#)

[フェールオーバー状態にあるとき、DID を使用して MGCP ゲートウェイへの着信コールを受信できない](#)

[解決方法](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

## 概要

Survival Remote Site Telephony(SRST)バージョン2.0以降とMedia Gateway Control Protocol(MGCP)フォールバックの両方がゲートウェイに設定されている場合は、次のMGCPフェールオーバーの問題のいずれかを解決するために、このドキュメントを使用してください。

- Foreign Exchange Station(FXS)ポート上の電話機でダイヤルトーンが聞こえない、または Foreign Exchange Office(FXO)ポートまたはISDNリンクを介して着信コールを発信できない。
- フェールオーバー状況では、MGCPフォールバック用に設定されたMGCPゲートウェイに対して、ダイヤルイン方式(DID)で着信コールを発信することはできません。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は次のソフトウェアバージョンに基づいています。

- Cisco IOS®ソフトウェアリリース12.2(11)T以降

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## FXSポートでダイヤルトーンが聞こえない、またはFXOポートまたはISDNリンク経由で着信コールを発信できない

この問題については、このセクションで詳しく説明します。

ダイヤルトーンが聞こえないFXSポートに電話機が表示されるか、FXOポートまたはISDNリンクを経由して着信コールを発信できません。このような場合、これは関連する一般電話サービス (POTS)ダイヤルピアの下で設定されます。

```
dial-peer voice X pots
  application mgcpapp
```

注：Cisco IOSソフトウェアリリース12.3(7)T以降では、PRIバックホールをサポートするPOTSダイヤルピアに**application mgcpapp**コマンドを適用することはできません。

この状況では、次のようなエラーメッセージがCisco IOSゲートウェイのコンソールに表示されません。

```
*Mar 1 20:41:58.571: %CALL_CONTROL-6-APP_NOT_FOUND:
Application mgcp in dial-peer 10 not found.
Handing callid 13 to the alternate app.
```

注：Cisco IOSソフトウェアリリース12.4(8c)以降では、**application mgcpapp**コマンドが適用された場合：

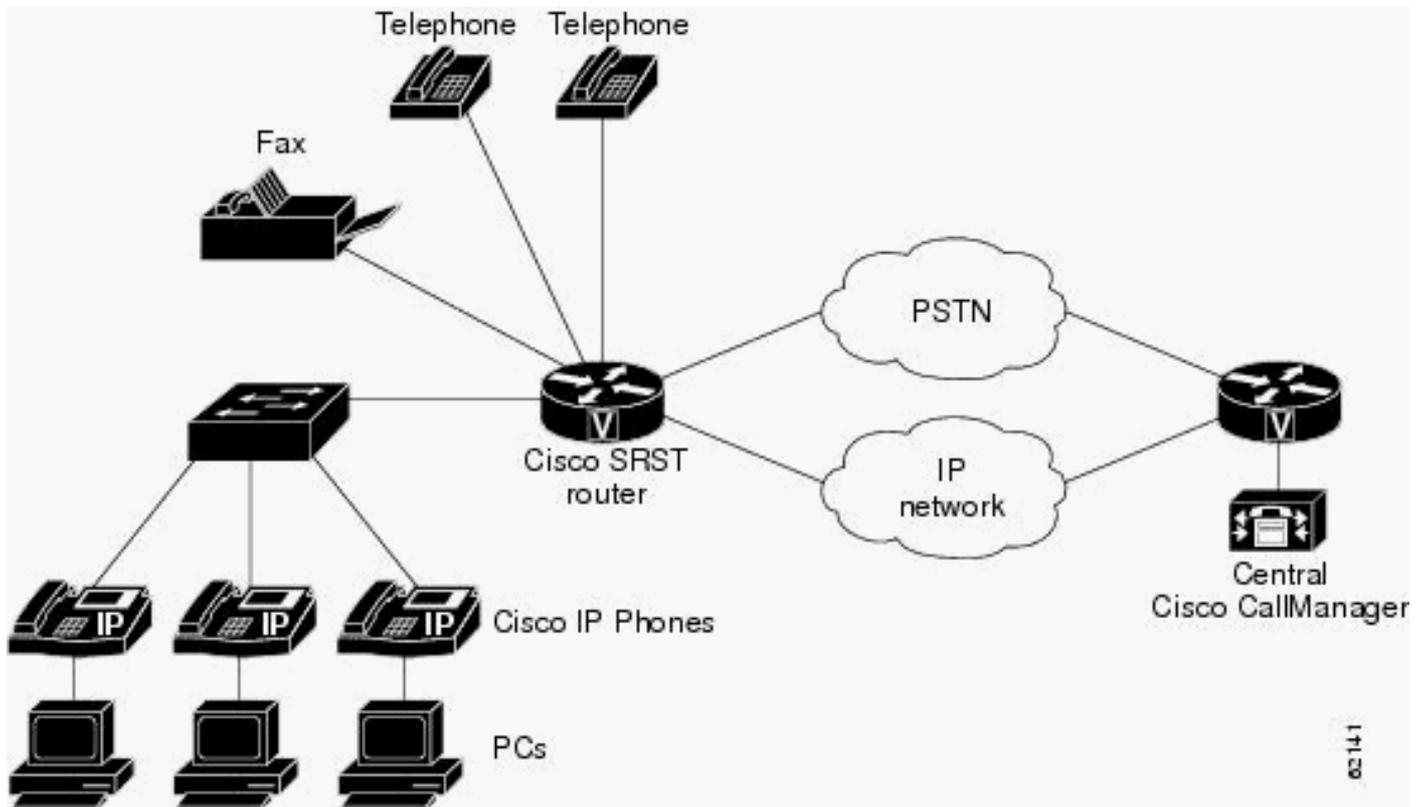
この状況では、次のような警告メッセージがCisco IOSゲートウェイのコンソールに表示されます。

```
Warning: This command has been deprecated and will be automatically
converted to the following:
  service mgcp
```

Cisco IOSソフトウェアリリース12.3(7)T以降では、**application mgcpapp**コマンドをPOTSダイヤルピアに適用するべきではありません。

## 解決方法

図 1：リモートセントラルCisco CallManagerに接続されたブランチオフィスのCisco IP Phone



Cisco CallManagerにアクセスできない場合、電話機はコール処理にCisco音声ルータを使用できません。次のいずれかが発生すると、電話機はSRSTモードになります。

- 中央サイトのCisco CallManagerへのWANリンクがダウンします。
- Cisco CallManagerへの接続が失われました。

SRSTを使用すると、WANリンクがアップ状態になるまで、または電話機をCisco CallManagerに再登録できるまで、ブランチオフィスの電話機を引き続き機能させることができます。

この問題を解決するには、このセクションで説明するソリューションのいずれかを使用します。

## 解決策 1

ルータがデフォルトアプリケーションにフォールバックするには、グローバルコンフィギュレーションモードで次のコマンドを設定します。

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(13)T 以前の場合：

```
R(config)#call application alternate default
```

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(14)T 以降の場合：

```
R(config)#application
R(config-app)#global
R(config-app-global)#service alternate Default
```

MGCPアプリケーションが使用できない場合、デフォルトアプリケーションが引き継ぎます。

## 解決策 2

フォールバックモードで使用するには、別のPOTSダイヤルピア ( デフォルトアプリケーション H323 ) を作成する必要があります。

## フェールオーバー状態にあるとき、DID を使用して MGCP ゲートウェイへの着信コールを受信できない

この問題については、このセクションで詳しく説明します。

フェールオーバー状況では、MGCPフェールオーバー用に設定されたMGCPゲートウェイに対して、DIDを使用して着信コールを発信することはできません。接続があっても、電話機が鳴りません。次に、この問題を確認するときにCisco IOSゲートウェイで使用するdebug isdn q931コマンドの例を示します。

### 問題確認例

```
*Mar 1 20:53:33.511: ISDN Se1/0:15 Q931: RX <- SETUP pd
= 8 callref = 0x000A
    Bearer Capability i = 0x8090A3
        Standard = CCITT
        Transer Capability = Speech
        Transfer Mode = Circuit
        Transfer Rate = 64 kbit/s
    Channel ID i = 0xA98381
        Exclusive, Channel 1
    Calling Party Number i = 0x00, 0xA2, '5000'
        Plan:Unknown, Type:Unknown
    Called Party Number i = 0xC1, '5002'
        Plan:ISDN, Type:Subscriber(local)
*Mar 1 20:53:33.543: ISDN Se1/0:15 Q931: TX ->
CALL_PROC pd = 8 callref = 0x800A
    Channel ID i = 0xA98381
        Exclusive, Channel 1
*Mar 1 20:53:33.543: ISDN Se1/0:15 Q931: TX -> CONNECT
pd = 8 callref = 0x800A
*Mar 1 20:53:33.595: ISDN Se1/0:15 Q931: RX <-
CONNECT_ACK pd = 8 callref = 0x000A
*Mar 1 20:53:40.045: ISDN Se1/0:15 Q931: RX <-
DISCONNECT pd = 8 callref = 0x000A
    Cause i = 0x8090 - Normal call clearing
*Mar 1 20:53:40.057: ISDN Se1/0:15 Q931: TX -> RELEASE
pd = 8 callref = 0x800A
*Mar 1 20:53:40.073: ISDN Se1/0:15 Q931: RX <-
RELEASE_COMP pd = 8 callref = 0x000A
```

## 解決方法

ここでは、この問題に対するソリューションを詳細に説明します。

関連するPOTSダイヤルピアで次の設定を行ったことを確認する必要があります。

```
dial-peer voice X pots
  application mgcpapp
  incoming called-number .
```

```
direct-inward-dial
port 1/0:15
```

注：Cisco IOSソフトウェアリリース12.3(7)T以降では、PRIバックホールをサポートするPOTSダイヤルピアにapplication mgcpappコマンドを適用することはできません。

適切な設定例を次に示します。

## 設定例

```
isdn switch-type primary-net5
!
!
ccm-manager fallback-mgcp
ccm-manager mgcp
ccm-manager config
mta receive maximum-recipients 0
!
controller E1 1/0 . pri-group timeslots 1-12,16 service
mgcp
!
controller E1 1/1
!
!
!
interface Ethernet0/0
 ip address 10.48.80.9 255.255.255.0
 duplex auto
 speed auto
!
interface Serial1/0:15
 no ip address
 no logging event link-status
 isdn switch-type primary-net5
 isdn incoming-voice voice
 isdn bind-13 ccm-manager
 no cdp enable
!
!
!
call rsvp-sync
!
call application alternate DEFAULT
!--- For Cisco IOS® Software Release 12.3(14)T or later,
this command was replaced by the service command in
global application configuration mode. application
global service alternate Default Refer to Solution 1 for
the command syntax. ! voice-port 1/0:15 ! mgcp mgcp
dtmf-relay voip codec all mode cisco mgcp package-
capability rtp-package mgcp sdp simple ! mgcp profile
default ! ! ! dial-peer cor custom ! ! ! dial-peer voice
10 pots application mgcpapp incoming called-number .
destination-pattern 9T
direct-inward-dial
port 1/0:15
!
!
call-manager-fallback
```

```
limit-dn 7960 2
ip source-address 10.48.80.9 port 2000
max-ephones 10
max-dn 32
dialplan-pattern 1 704.... extension-length 4
keepalive 20
default-destination 5002
alias 1 5003 to 5002
call-forward busy 5002
call-forward noan 5002 timeout 12
time-format 24
!
!
line con 0
  exec-timeout 0 0
line aux
```

注：発信コールの場合は、destination-patternを設定する必要**があります**。

基本的なSRSTを設定する手順を説明した[シスコサポートコミュニティのビデオへのリンク](#)を次に示します。[基本SRSTの設定](#)



## 確認

ここでは、設定が正しく機能していることを確認するために使用する情報を示します。

一部の show コマンドは[アウトプット インタープリタ ツールによってサポートされています \(登録ユーザ専用\)](#)。このツールを使用することによって、show コマンド出力の分析結果を表示できます。

- [show call-manager-fallback all](#):Cisco CallManagerフォールバック中のネットワーク内のすべ

てのCisco IP Phone、音声ポート、およびダイヤルピアの詳細な設定を表示します。

- [show call-manager-fallback dial-peer : CiscoCallManager のフォールバック時のダイヤルピアの出力を表示します。](#)
- [show ccm-manager fallback-mgcp : Cisco CallManager サーバのリストと、それらの現在のステータスおよび可用性を表示します。](#)
- [Cisco SRSTの監視と保守](#):Cisco Survivable Remote Site Telephony(SRST)

## [関連情報](#)

- [Cisco SRSTテレフォニーの設定](#)
- [Cisco CallManagerおよびCisco IOS相互運用機能ロードマップ](#)
- [Cisco CallManagerのMGCPゲートウェイサポートの設定](#)
- [MGCP の設定 - Cisco CallManager と連携した BRI シグナリングのバックホールの制御](#)
- [Cisco CallManagerのMGCP PRIバックホールおよびT1 CASサポートの設定](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)